

<ワークショップについて>

○ワークショップの基本的なルール

- ① テーマや目的を共有し、グループ全員で討議しましょう
- ② 他の人の意見やアイデアを否定、非難するような発言は控え、自分と違った考え方や視点も大切にしましょう
- ③ グループ全員が発言できるように発言はできるだけ短くまとめましょう

<ワークショップのテーマと意見交換の視点等>

○ワークショップのテーマ

駅周辺の 20 年後の姿を考えよう！

○意見交換の視点

① 駅周辺の 20 年後の姿

- ・ 20 年後、下丸子駅周辺がどのような姿であってほしいか等について、これまで出てきた意見やキーワードを基に意見交換を行います。

■ 検討のキーワード

暮らしを豊かにする／賑わい・活性化／ものづくりや歴史、文化、自然など地域の資源を活かしたまちづくり／人中心の歩きやすいまちづくり／人がたまる、くつろげる場所／子どもが遊べる場所など、地域住民と交流できる場所／路地の雰囲気／安全・安心／文化活動やショッピングができる拠点／カーボンニュートラル／河川敷や公園をもっと活用 等

② 駅周辺に求められる機能・施設等

- ・ ①の姿や地区の特徴、社会情勢の変化等を踏まえ、どのような機能や施設の配置が必要となるか、また駅周辺に欠かせないものは等について意見交換を行います。

■ 検討のキーワード

広場等の滞留空間／交通結節機能／公共機能（区民プラザ、図書館等）／商業機能／医療・福祉・子育て機能／インキュベーション機能／スポーツ拠点／防災機能／地域コミュニティの場 等

○20 年後想定される出来事・事象（下丸子駅周辺地区まちづくり構想（案）より）

- ① 新空港線の開通により、都心部（渋谷、新宿等）と空の玄関口（羽田空港）と直結
- ② 産業構造の転換、自動運転技術の進化
- ③ 新しいものづくり拠点の形成（羽田イノベーションシティ、殿町キングスカイフロント等）
- ④ 生産年齢人口の減少による都市間競争の加速
- ⑤ 台風や集中豪雨等の自然災害の激甚化、大規模災害リスクの高まり
- ⑥ ガス橋通り（補助 28 号線）の整備や JR 南武線の鉄道立体化等による自動車の広域交通ネットワークの向上
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化